

科目	現代文B	単位	2単位×35週＝70時間	学年	3年
使用教科書	新編現代文B(東京書籍)	副教材等	なし		

1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編現代文B」(現 B321)
副教材	「新編現代文B学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / その他、指導用DVD-ROM 収載の補助資料など ※「4 学習計画、及び評価規準など」の「備考」欄では、「新編現代文B学習課題ノート」の扱い方については省略している。

3 評価の観点、及び内容、方法

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)	・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート、レポート・感想文などの作成した文章) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査

4 学習計画、及び評価規準など

※「主な評価規準の具体例」の欄に示した「学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)」については、学習指導要領の指導事項と対応する記号(ア、イ、ウ、エ、オ)を略記した。

※「関心・意欲・態度」の観点については、各能力(または「知識・理解」)の評価規準に示した内容に、取り組もうとしているということを評価規準とする。

※「備考」欄には、以下の内容が入る。

- 1 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連 / 2 図書館やICTの活用など / 3 副教材の使用など

学期	月	時数	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例
						【話-話す・聞く / 【書-書く / 【読-読む / 【知-知識・理解 〈評価方法〉 学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)
1	4	3	1 評論 1 ▼論理展開に注意して評論を読んで、扱われている問題を正確に捉えよう。 ▼筆者の考え方を手がかりにして、現代社会を生きていくうえでどのような態度が必要なのか	最初のペンギン	・「有限の立場」とはどのような立場かを理解する。(手引き2) ・「最初のペンギン」という言葉の意味と筆者の言う「創造的な人間」の意味を正確に捉えて、両者の共通点を理解する。(手引き4) ・不確実な現代において、われわれはどのようにして判断や行動をしていけばいいかを理解する。(手引き5) 【言語】科学文明、機械文明が発達した現代において、当然のようにあるものがどのように開発、発展してきたかを調べ、そのものの存在意	【話】自分が調べたことをもとに考えをまとめ、正確に発信している。〈行動の観察〉 —エ 【読】「不確実な状況下」での判断と行動を「最初のペンギン」という例示で説明する論理の展開を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。〈行動の観察 / 記述の確認 / 定期考査〉 —イ 【知】「演繹」などの評論における難解な語句の意味や用法を的確に理解している。〈行動の観察

		考えよう。		義をまとめて、発表する。	／定期考査> -オ
	4	豊かさと生物多様性 ◆考える楽しみ ③…「真の価値」を求めて		<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性について、筆者の考えを理解する。(手引き1) ・筆者が挙げる「二つの生物多様性を大切にす る発想」について、把握する。(手引き3) ・「かけがえのないもの」とはどのようなもの か把握する。(手引き2) 【言語】 「生物多様性問題」に関わる資料を探 索し、そこから読み取れることをまとめ、論 じ合う。	【話】 生物多様性問題について自分なりに関心 を持って、正確に発信している。<行動の観察/ 定期考査> -エ 【書】 筆者の考える、「生物多様性」を大切にす るために必要なことをまとめて、まとめている。 <記述の確認> -エ 【読】 「生物多様性」、「南北問題」に対する考えを 正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解して いる。<行動の観察/記述の確認/定期考査> -イ 【知】 「多様性」、「南北問題」、「生態系」、などの 語の意味や用法を的確に理解している。<行動 の観察/定期考査> -オ
5	7	2小説1 ▼優れた小説が、構成 や表現の面でどの ように工夫されて いるかを理解しよ う。 ▼小説を読むことを とおして、自分とは 何か、人間とは何か という問題につい て考えを深めよう。	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公李徴の発言によって、小説が構成され ていることを理解する。(手引き1, 2) ・前半部で語られる李徴の状況と人間像を理解 する。また、虎に変身する過程とその時の李 徴の心理変化を理解する。(手引き3, 4) ・李徴が袁愔に依頼したことを理解する。(手 引き5) ・李徴自身の気がついた、虎に変身しなければ ならなかった理由を理解する。(手引き6) ・作者がこの小説で語りたかったことを理解す る。(手引き6) 【言語】 李徴の生き方についての意見を文章に まとめて、お互いに発表する。	【話】 李徴の生き方についての意見を的確にまと めて、正確に発信している。<行動の観察/定 期考査> -エ 【書】 李徴の生き方についての意見を文章にまと めることができている。<記述の確認> -エ 【読】 前半部の李徴の状況と心理状態、虎になっ て袁愔に語る自己分析と心理を的確に理解し ている。<行動の観察/記述の確認/定期考査 > -イ・ウ 【知】 前半部に集中している漢語の意味を的確に 理解している。また、小説における比喩や象徴 的な表現も理解している。<行動の観察/定期 考査> -オ
6	3	言語活動	1 文学的文章 を読んで話し合 う	<ul style="list-style-type: none"> ・小説における登場人物の心理を読み取り、そ こから理由を明確にして自分の意見をまとめ る。 ・テーマを設定して話題が逸れないように工夫 し、それぞれの意見を交換してお互いに批評 し合う。 ・話し合ったことをもとに、自分の意見の検証 をする。 	【話】 設定したテーマに沿って自分の考えを論理 的に発信している。<行動の観察> -エ 【書】 話し合いをもとに自分の意見を検証してま とめている。<記述の確認> -エ 【知】 発表するのに必要な語句を的確に使用して いる。<行動の観察/定期考査> -オ
	7		カンガルー日和 ◆小説の楽しみ	・カンガルーの赤ん坊を見に行くことになった 経緯と、実際に見ている場面の展開を理解す	【話】 「カンガルー日和」という題名の効果につい て、自分の意見を的確にまとめて、正確に発信

				③…小説のオリジナリティー	<p>る。(手引き1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンガルーの赤ん坊を確認する前と後の、彼女の心境の変化を理解する。(手引き2) ・カンガルーの赤ん坊を「彼女」が確認する前と後の、「僕」の心境の変化を理解する。(手引き3) ・作者独特の軽妙な会話や極端な着想と比喻表現を理解する。(手引き4) <p>【言語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「才能が枯れ尽きてしまった作曲家のような顔つき」のような極端な比喻表現を味わう。 ・一般に「行楽日和」などと使われる「日和」を本来なら結びつかない「カンガルー」と結びつけた作者の意図を理解する。 	<p>している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—エ</p> <p>【読】 僕と彼女の会話から登場人物の人間像と、その心理変化を理解していると同時に、作者独特の比喻表現に込められた作者の思いを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—イ・ウ</p> <p>【知】 作者独特の比喻に込められた暗示性を理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—オ</p>
2	9	3	3 随想	カフェの開店準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく平凡な日常生活に対する筆者の観察の細かさを、自分の体験と比較して理解する。(手引き1) ・「目的」と「行為」という言葉に対する、筆者の考えを理解する。(手引き2) ・「行為が習慣化したとたん、その行為の源にある生命力は死ぬ。」という言葉の意味を理解し、筆者の「私たちの生」に関する考えを理解する。(手引き3) <p>【言語】 筆者の考える「生」を自分の日常の中で捉えて、どのようなことが言えるかをまとめる。</p>	<p>【話】 筆者の「生」に関する考えを理解し、それに対する自分の考えを的確に発信している。〈行動の観察〉</p> <p>—エ</p> <p>【読】 筆者の言う「目的」と「行動」の意味を理解している。また、それを自らの日常生活に照らして考えている。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—イ</p> <p>【知】 基礎的な語句の意味や用法を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—オ</p>
				物語の外から ◆言葉の扉③… 的確な表現のために	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の「語り」の場面で筆者が感じたことを理解する。(手引き1) ・語り部の男性・女性の行動や様子を把握し、「語り」について理解する。(手引き3) ・「物語」と「自己」の関係を理解する。(手引き4) <p>【言語】 筆者の主張に対して、論理的に自分の意見を展開し、発表する。</p>	<p>【話】 「自己」と「物語」について、自分の具体例を挙げて話し合っている。〈行動の観察〉</p> <p>—エ</p> <p>【読】 「語り部の男性」の行動に対する筆者の考えを理解している。「語り部」の様子から「物語」と「物語」と「自己」との関係を考察している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—イ</p> <p>【知】 基礎的な語句の意味や用法を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—オ</p>
10	1	1	4 詩歌	竹	<ul style="list-style-type: none"> ・反復法や脚韻を使ったこの詩独特の響きの持つ効果を理解する。(手引き1) ・第一連「地下」と第二連「地上」という、違う情景の表現を理解する。(手引き2) ・作者が竹に込めた思いを理解する。(手引き3) ・萩原朔太郎の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、朔太郎の他の詩も読んでみる。 	<p>【読】 第一連、第二連の情景を正確に理解している。また、作者が竹の姿に込めている思いを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—イ・ウ</p> <p>【知】 反復法、脚韻といった詩の修辞技巧や言葉の使い方を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—オ</p>

	3	を深く味わうことで、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにしよう。	永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> ・この詩において東北方言をそのまま使った効果を理解する。(手引き1) ・この詩に詠まれた情景の展開を理解する。(手引き2) ・この詩で語られる妹とし子の気持ちをとし子の東北方言の言葉から理解する。(手引き4) ・この詩に込められた作者の思いを理解する。(手引き3, 5) ・宮澤賢治の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、他の詩も読むと同時に童話も読んでみる。 	<p>[話] この詩のテーマと方言を使うなどの表現方法について、自分の考えを的確にまとめて、正確に発信している。〈行動の観察〉</p> <p style="text-align: right;">—エ</p> <p>[読] 情景の展開を正確に読み取り、作者の妹の死への切実な思いを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—イ・ウ</p> <p>[知] 詩における作者の直接的な感情の吐露を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—オ</p>
	3		一日の長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・第二連のこの詩における効果を理解する。(手引き1) ・第一連の「ぼく」の状況を理解する。(手引き2) ・この詩で「ぼく」が感じた一日の長さ子ども一日の長さの違いを理解する。(手引き4, 5) 	<p>[読] 第一連から第三連への情景の展開を正確に読み取り、作者の一日の長さに対する思いを理解している。また、こどもの一日との比較を最後の連においた作者の意図も理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—イ・ウ</p> <p>[知] 「弦ばかりの慌しい戯れ」という比喩や「つかのまうっとり 聞いたほかに？」が直接つながる部分などの詩独特の言い回しを理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—オ</p>
	3		春雷【俳句】	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの俳句の季語を確認し、その俳句に詠まれている季節を理解する。(手引き1) ・それぞれの俳句に詠まれた情景を読み取ると同時に、そこに込められた作者の心情や感動を理解する。また、それをもとにして俳句の鑑賞文を書く。(手引き2, 3) ・体言止め、句切れ、切れ字などの修辞技巧を理解する。 ・それぞれの俳人の文学史における位置を理解する。 	<p>[読] それぞれの俳句に詠まれた情景や作者の思いを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—イ・ウ</p> <p>[書] 俳句に詠まれた情景や作者の心情・感動を正確に理解して、鑑賞文を書いている。〈記述の確認〉</p> <p style="text-align: right;">—エ</p> <p>[知] 俳句における季語、切れ字などの修辞技巧を理解している。また、村上鬼城、尾崎放哉、杉田久女、加藤楸邨、水原秋桜子といった俳人の文学史における位置を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—オ</p>
1	4	言語活動	4 課題を設定して調べた成果をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的かつ調査可能で、興味・関心があるという点に注意して、課題を設定する。 ・本などの活字になったもの、インターネット、訪問・見学などといった調査方法を理解する。 ・調査した情報を整理し、それをまとめて報告書を作成する。 	<p>[書] 調査した情報を効果的に利用して、報告書を作成している。〈記述の確認〉</p> <p style="text-align: right;">—エ</p> <p>[知] 調査する内容の設定の仕方、調査方法を的確に理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—オ</p>
	5	5 評論 2 ▼語句の意味や表	言葉は世界を切り分ける	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語でコミュニケーションを取ることの難しさについての、筆者の考えを理解する。(手引き2) ・言葉の「『面』としての意味」について、具 	<p>[話] 言葉の働きについて、発展的な関心を持っている。ている。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—エ</p>

			<p>現上の特色に注意しながら評論を読んで、筆者の主張を的確に捉えよう。</p> <p>▼比喩の手法を用いた評論を読んで、筆者の主張を的確に捉えよう。</p>		<p>体例を通して理解する。(手引き3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の働きについて、筆者の主張を踏まえて考えことをまとめる。(手引き5) <p>【言語】言葉による世界の分割の仕方について、具体例を用いて話し合い、発表する。</p>	<p>【書】文章の主旨を読みとり、それに対する自分の意見をまとめている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">-エ</p> <p>【読】取り上げている事柄を捉え、相対的な表現や論の進め方の工夫に気づいている。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-イ</p> <p>【知】各言語の世界の文節の仕方を的確に理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-オ</p>
1 2	6		<p>もう一つの知性</p> <p>◆考える楽しみ</p> <p>④…困難な時代に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「情報化社会」、「知性のあり方」の意味を理解している。(手引き1) 例として挙げられている事項・用語を「情報化」と「知性」に分けられる。(手引き2・) 「血肉になっているような情報」「服のポケットにたくさんの紙片を詰め込んでいるような知性」などの比喩表現を理解する。(手引き3) トルストイの話の意味を理解する。(手引き4) <p>【言語】「プリコラージュ」的な知の可能性を、自分たちの生活にどう生かせるか、発表する。</p>	<p>【話】教材の話題を自分の生活に結びつけて考え、意見を発表している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-エ</p> <p>【書】情報化社会について、考えたことを的確に文章にまとめている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">-エ</p> <p>【読】キーワードの分類、比喩表現を理解し、引用例の意味や役割を理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-イ</p> <p>【関】取り上げられている事柄に関心を持ち、積極的に話し合いに参加している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-オ</p>	
3	1	7	<p>6小説2</p> <p>▼時代背景や虚構性に注意して小説を読んで、そこに描かれた世界を的確に捉えよう。</p> <p>▼小説を読んで感じたこと考えたことを仲間と伝え合うことで理解を深めていく態度を養おう。</p>	<p>鞆</p> <p>◆小説の楽しみ</p> <p>④…不条理と文学</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「私」と「青年」のセリフに注意して、物語の展開を理解する。(手引き1) 「私」が「青年」と青年の「鞆」に対して持っている疑念を理解する。(手引き2) 「青年」にとっての「鞆」はどのようなものかを理解する。(手引き3) 行く道を束縛されながらも自由だという真理を理解する。(手引き4, 5) <p>【言語】この小説の暗示性とストーリーのおもしろさを読み取り、それを紹介する文章を書く。</p>	<p>【読】セリフの発言者を確認して、物語の展開を正確に理解する。また、作者がこの小説で語りたかった「束縛」と「自由」ということを理解する。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-イ・ウ</p> <p>【書】この小説の内容を的確に捉え、その紹介文を工夫して書いている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">-エ</p> <p>【知】現代小説の超現実主義の作品を理解している。また、奇抜な着想や象徴的かつ暗示的な表現の仕方も理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-オ</p> <p>【話】この小説の感想を的確にまとめて、正確に発信している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">-エ</p> <p>【書】この小説の感想を、論理的に文章にまとめることができている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">-エ</p> <p>【読】物語の展開を正確に捉え、「私」の心理と妹の心理を理解する。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p>

					ーイ・ウ
2	7	8 小説3 ▼多様な表現方法を用いて書かれた近代小説の世界を味わおう。	葉桜と魔笛 ◆小説の楽しみ ④…不条理と文学	・筆者の言う「江戸時代」とは日本人にとってどのようなものであったかを理解する。(手引き2) ・筆者の言う「室町・桃山時代」の重要性を「宣教師」「国際貿易」「技術革新」を中心にして理解する。(手引き4) ・「日本人の社交性」について「江戸時代」と「室町・桃山時代」との違いを理解する。(手引き4) ・「我々の内部にある、いわば江戸的でない性格を発見して、それを育てていくことが重要である」という筆者の結論を理解する。(手引き5) 【言語】現代の日本人の国際化に必要だと考えられることを、筆者の意見を参考にしながら、800字程度の文章にまとめる。	【話】現在の国際化に関心を持ち、調べたり、考えたりしたことを的確にまとめ、正確に発信している。<行動の観察/定期考査> ーエ 【書】筆者の意見を参考にし、国際化に必要なことを考え、それを論理的な文章にまとめている。<記述の確認> ーエ 【読】「国際化」において、「江戸時代」と「室町・桃山時代」の違いを筆者がどう捉えているかを理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査> ーイ 【知】「宣教師」などの歴史的な言葉、「連歌」などの文化的な言葉の意味を的確に理解している。また、「国際化」などの現代を考える上で重要なキーワードも理解している。<行動の観察/定期考査> ーオ
5		7 評論3 ▼筆者の述べる人間や社会についての確に理解し、評論の読み方を習得しよう。 ▼現代社会と人間との関わりについて理解を深め、自らの考えをまとめ、的確に表現する力を養おう。	ホンモノのおカネの作り方	・「ニセガネとは『似せ』ガネなのである。」と筆者が言う意味を理解する。(手引き1) ・「預かり手形」が本物のお金と同等に扱われるようになる過程と理由を理解する。(手引き2) ・「ニセガネ」と「預かり手形」の違いを理解する。(手引き3, 4) ・お金の本来の意味と「預かり手形」が現代の経済の仕組みにつながる過程を理解する。(手引き5) 【言語】現代の経済の仕組みについて、他教科で学んだことや調べたことをもとにして話し合う。	